

▼アルデシン [外] <製造中止>

- 【重要度】<製造中止> 【一般製剤名】プロピオン酸ベクロメタゾン (U) beclomethasone dipropionate 【分類】定量噴霧式喘息治療剤
- 【単位】▼50mcg/1回噴霧 (1缶 7.37mg, 7mL), ▼100mcg/1回噴霧 (1缶 10mg, 4mL)
- 【用法】1回2吸入 (100mcg) を1日4回口腔内に噴霧吸入 (1日最大投与量は800mcgを限度とする)。本剤吸入後うがいを実施すること。
- 【透析患者への投与方法】減量する必要はないと思われるが、透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)
- 【保存期腎不全患者への投与方法】減量する必要はないと思われるが、腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)
- 【特徴】即時型アレルギー反応に対しては効果が不定であるが、遅発型アレルギー反応は抑制するとされている。気管支喘息に対して、治療効果と予防効果が同時に期待できる局所ステロイド噴霧剤。局所作用が極めて強く、全身作用は弱い。
- 【主な副作用・毒性】刺激感、異物感、口腔カンジダ症、口内炎、味覚異常、嘔吐、高血圧、動悸、関節痛、筋肉痛、頭痛、倦怠感
- 【モニターすべき項目】副腎機能、小児における成長・発達、吸入技術、肺機能
- 【tmax】吸入直後
- 【代謝】肺で急速に活性代謝物の beclomethasone monopropionate になり、beclomethasone の局所作用を増強する (U)
- 【排泄】糞便及び尿中に排泄 (U)
- 【蛋白結合率】87% (外国人) (1)
- 【透析性】蛋白結合率が高いため、透析では除去されにくいと思われる (5)
- 【TDMのポイント】TDMの対象にはならない
- 【O/W係数】高い (11) 2.7 (n-octanol/pH7) (1)
- 【効果発現時間】肺機能・症状が最も改善するには4週間かかるであろう。気道過敏性の低下は徐々に起こり、数週間から数カ月かかる。
- 【備考】スプレーサー (ボルマチック・ソフト) を使用しなければ、吸入量の10~25%しか気道に達しない。残りは口腔、咽頭に残り、嚥下される。スプレーサーを用いるとより多くの薬物が気道に達し効果を示す (U)
- 【更新日】20081020

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。